



「奈良の町家に住みませんか？」パンフレット完成 ～大和・町家バンクネットワーク協議会～

伝統的な町家建築と地域コミュニティの保全を目指すまちづくり団体の、連携・県内一元化を図る「大和・町家バンクネットワーク協議会」（事務局：NPO法人今井まちなみ再生ネットワーク）は、協議会の活動を多くの人に広める冊子「奈良の町家に住みませんか？」と、団体スタッフの活動のための手引き「大和・町家バンク事業のすすめ」を発刊した。

■伝統的町家・町並み保全をネットワーク化

奈良（大和）県内には、橿原市今井町、宇陀市松山地区、五條市新町地区などの重要伝統的建造物群保存地区、また、近年は観光地として賑わう奈良市ならまち地区を始めとして、伝統的な町家や町並みを有する地区が多数存在している。

しかし、近年、県内の各地区では、空き家、空き地の増加と老朽化により、良好な景観や地域コミュニティが失われつつある。

そこで、情報収集や発信、空き家情報の集約等を一元化することで、多様な住民ニーズに応え、また、新しく住みたい人や事業者を迎えるべく、平成23年、上記4地区のほか八木、桜井市三輪・初瀬、御所、大和郡山、高取、田原本、大和高田など、伝統的な町家や歴史的な町並みを有する12地区のまちづくり団体と、行政機関、不動産・建築関係事業者等により「大和・町家バンクネットワーク協議会」が設立された。

■冊子の発行と情報発信の活発化

このたびの冊子製作事業は、国の「平成23年度長期優良住宅等推進環境整備事業」に同協議会が採択され、その一環として行われたもので、冊子「奈良の町家に住みませんか？」は、歴史的町並みを伝える各地区の歴史やまちづくり組織の活動を紹介し、多くの人や事業者へのアピールを目指す。

また、「大和・町家バンク事業のすすめ」は、空き町家紹介事業を展開する上で、各団体が直面する問題点や疑問点に答えるとともに、実際に、不動産賃貸を進めることになった場合の留意点や、賃貸契約書の作成方法をまとめたものである。



このたび製作された冊子「奈良の町家に住みませんか？」と「大和・町家バンク事業のすすめ」（ともにA4判）



近年は空き家や空き地が目立ち、徐々に町の景観と伝統文化が失われつつあるが、再びその価値を見直そうという動きが全国的にも活発化しており、伝統的な町家住まい、伝統的な町並みでの事業創造が目目され始めた。

その中、同協議会とその参加団体は、空き家の紹介事業や「まち歩き」などの各種イベントの実施など、伝統的な町並みの良さのアピールをますます活発化させている。（山城 満）

「大和・町家バンクネットワーク」

<http://nara-machiya.com/>

事務局：NPO法人今井まちなみ再生ネットワーク
奈良県橿原市今井町3-8-5 夢ら咲長屋内
TEL/FAX 0744-29-0050